



安心な水を  
これからも  
ずっと

阪神水道企業団

## 阪神水道企業団の概要

阪神地域は、水道水源となる大きな河川がなく慢性的な水不足に悩まされていました。

そこで、安定した給水を確保するため、昭和11年7月に「阪神水道企業団」が設立され、遠く琵琶湖・淀川水系を水源とする水道用水供給事業にとりかかり、昭和17年に給水を開始しました。

その後、平成29年からは宝塚市へ、令和7年からは明石市へ順次供給を開始し、阪神地域の重要な社会経済基盤として、市民生活を支えています。

《阪神水道企業団の構成団体》 神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、宝塚市、明石市

### ◆ 企業団とは

地方公共団体が、団体の事務の一部を共同処理するために設ける地方公共団体の組合を『一部事務組合』といい、そのうち、地方公営企業の経営に関する事務を共同処理する一部事務組合を『企業団』といいます。

### ◆ 水道用水供給事業とは

阪神水道企業団は、一般家庭等へ直接水を届けるのではなく、水道事業者(水道事業を経営する者)に水道用水を供給する『水道用水供給事業』(水の卸売業)を行っています。

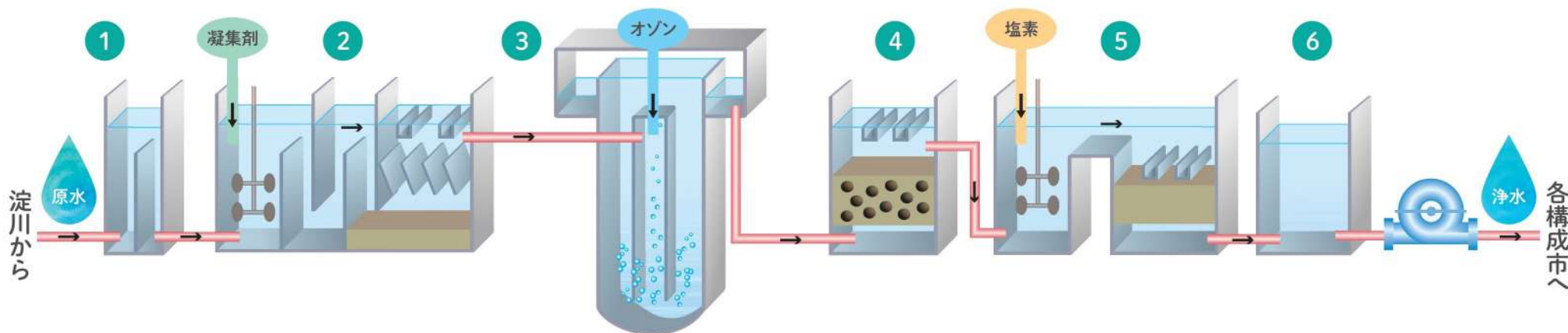
『水道事業』経営の主体は、市町村が原則であるのに対して、『水道用水供給事業』の場合は府県や企業団等により経営されます。







# 高度浄水処理水ができるまでのしくみ



## 1 着水井

淀川から取水された原水が最初に到着するところです。ここから浄水処理が始まります。

## 2 凝集沈澱

薬品(硫酸アルミニウム)を入れて、水中に混じっている細かな砂や濁りを小さな固まりにして沈めます。

## 3 オゾン処理

オゾンにより水中のかび臭や有機物を分解します。

## 4 活性炭処理

粒状活性炭層に水を通して、かび臭や有機物質などを取り除きます。

## 5 ろ過

浄水処理の最終仕上げとして、水中に残っている細かな粒子等を除去し、きれいな水にします。

## 6 浄水池

浄水処理された水道水を一旦ここで貯留し、各市へ送り出します。

公式HP



Facebook



X



Instagram

